



初任科第85期 ～絆と信頼～

静岡県消防学校 初任科だより vol. 5

◆ 第二回野外訓練 ◆

8月9日～10日にかけて第二回野外訓練を行いました。昼間の訓練では消防学校で各クラスごと体力練成、応用訓練、救助訓練を実施しました。体力練成ではサーキットトレーニングを行い、学生は体力の限界まで追い込んで取り組みました。応用訓練では、火災を想定した屋内での平面検索訓練を行い、救助訓練では渡過訓練を実施しました。

夜の訓練では、沼津の千本浜公園から消防学校までの約42kmの道のりを消防用ホース等約20kgの荷物を担いで強歩訓練を行いました。強歩訓練では、途中で足が痙攣し、リタイアしてしまう学生が出てしまいました。リタイアにはならなくても、靴ずれや股ずれを起こした学生も多く、完歩できるか心配されましたが、今まで苦しいことを共に乗り越えてきた仲間と励まし合いながら無事に消防学校に到着する事が出来ました。

今回の野外訓練で悔しい思いをした学生や自分の目標を達成できた学生など思いは様々ですが、残り1ヶ月を有意義に、そして技術や知識を吸収するために日々精進していきたいと思えます。



夜間強歩訓練

◆ 県民の日 ◆

8月17日に県民の日の行事が行われました。私たちが消防士になって初めて県民の方と直接接することができる日なので、全員がとても張り切っていました。内容としては、7つのブースを設け、消防や防災に関する体験をしていただきました。この日の為に各ブースは、説明の練習、小道具の作成などを行い、県民の日の成功のために意欲的に作業に取り組みました。

当日、参加した子供たちは目を輝かせ、各ブースの消防・防災体験に取り組んでくれました。放水体験では、実際に子供用防火衣を着て放水体験ができるので子供だけではなく保護者の方も楽しそうに写真を撮っていて、見ている私たちも楽しく、うれしい気持ちになりました。

普段は、消防学校の中での訓練に必死に取り組んでいます。そのような中、今回県民の方々に直接接することができ、とても貴重な体験になりました。消防士として常に市民目線でいなくてはならないと思うので、今回の経験を忘れずに今後の訓練、業務に真摯に取り組んでいきたいと思えます。



放水体験

発行日：平成28年9月12日

発行元：静岡県消防学校

制作：静岡県消防学校初任科第85期文化委員会

御前崎消防 松坂 静岡消防 小澤 静岡消防 青木